

施策番号	施 策 名	予算額(百万円)
413	戦略的なプロジェクトの推進と新技術の開発	547

【2010年度の目標】

三重県の重要な農林水産物や新しい特産物の活発な生産が行われ、輸入品や他県産に負けない、高品質で求めやすい価格の農林水産物が「三重の顔」として全国に提供されています。

項 目 (主要品目)	基準年度の状況	1999年度実績	2001年度の目標 (2010年度の目標)
早場米(全国早場米市場での流通量シェア)	8.7% (西日本第3位)	11.28%	10% (20%) (西日本第1位)
三重さつき (全国生産量シェア)	39.5%(1994年度) (全国第1位)	—	39.5% (40%) (全国第1位)
高級和牛肉(東京市場での取扱量シェア)	9.0%(1994年度)	11.0%	18% (40%)
銘柄茶としての販売割合 (県内産荒茶出荷量に対する伊勢茶割合)	10.0%(1994年度)	11.6%	15% (30%)
県産材(すぎ、ひのき) (県内需要量に対するシェア)	44.0%(1994年度)	48.0% (見込み)	50% (70%)
ひのき(全国生産量シェア)	8.1%(全国第3位) (1994年度)	8.6% (見込み)	9% (15%) (全国第1位)
天然まだい(太平洋中区に占める生産量シェア)	33.7%(1994年度)	38.2%	44% (50%)
天然ひらめ(太平洋中区に占める生産量シェア)	10.1%(1994年度)	8.7%	13.5% (15%)
真珠(全国生産量シェア)	20.1%(全国第3位) (1994年度)	32.6%(概数)	21.7% (25%) (全国第2位)
松阪木材コピナートを核とした木材流通ネットワークづくり	0か所	0か所	1か所(同左)
海洋牧場整備	1か所	1か所	1か所(3か所)

新品種の開発、新技術の開発

2001、2010年度の目標	1999年度実績
水稻の極早生品種の開発	中生新品種候補(三重11号、12号)の生産力検定
優良真珠母貝の開発	白色系真珠貝第1系統及び第2系統の保存と第1系統の改良、真珠の巻きの改良効果の検討
肉用 肉用牛雌雄産み分け 実用化技術開発	卵子成熟率を34%から65%以上に向上 クローン胚を1個移植したが不受胎
伊勢えび、まはた、くえ等 高級魚大量増殖技術開発	まはた稚魚 36,000尾、くえ稚魚 47,000尾の生産に成功し、伊勢エビ小規模生産技術を確立した
県産材新用途開発	竹と木材の複合材の開発、鋼材木材の複合構造材製造方法の改良

これまでの取組

三重県の重要な農林水産物や新しい特産物の活発な生産が行われるよう基盤整備を促進するとと

もに、「伊勢うどん」や「清酒」のEマーク食品の認証や優良真珠母貝の開発、クローン胚移植技術の開発、伊勢エビ・クエ・マハタの大量増殖技術開発、県産材の新用途開発など戦略的農林水産物の開発に取り組みました。

平成13年度の取組

平成13年度については、引き続き、県内産品を「三重の顔」として全国に情報発信できるよう、戦略的農林水産物の低コスト化や高付加価値化、革新的技術の開発を促進します。特に、松阪市を中心として開催する「全国お茶まつり」を活用し、伊勢茶の魅力・実力を全国に向けて情報発信します。三重県産の木材が産地間競争に打ち勝つよう、松阪木材コンビナートを核とする木材流通ネットワークの構築を促進します。

主な事業

- 1 (新) 全国お茶まつり21世紀記念大会開催事業 (10,000(10,000)千円)
【(101)伊勢茶振興総合対策事業】〔農林水産商工部〕
第55回全国お茶まつりを三重県(開催主会場:松阪市)で開催し、「愛Tea新時代」をキャッチフレーズに「伊勢茶」をPRするとともに参加体験型のイベント等を実施します。
- 2 (新) 木材コンビナートを核とした森林資源循環利用システム構築事業 (381,227(70,185)千円)
【(201)木材総合流通の促進事業】〔農林水産商工部〕
4月に一部オープンする松阪木材コンビナートを核とした県産材の安定供給体制を確立するために、原木の直送システムの導入や木材加工施設の整備、ブランド材の出荷体制の確立等を図ります。
- 3 肉用牛増産技術開発事業 (2,011(2,011)千円)
【(502)公設試験研究機関新技術開発事業】〔総合企画局科学技術振興センター〕
県内産の優良肉牛の増産を図るため、遺伝的に優れた和牛のみを選別し、その体細胞を核とした同一遺伝形質を有するクローン胚を効率的に生産する技術を確立するとともに、クローン胚の移植による優良和牛の生産を目指します。
- 4 戦略的木材製品 新技術研究開発事業 (5,350(5,046)千円)
【(502)公設試験研究機関新技術開発事業】〔総合企画局科学技術振興センター〕
柱材中心から内装材等への利用拡大、低価格化を図るため、戦略的新製品・新技術の開発を行います。
- 5 クエ・マハタ種苗量産技術確立事業 (9,478(9,478)千円)
【(502)公設試験研究機関新技術開発事業】〔総合企画局科学技術振興センター〕
クエ・マハタについて安定的な種苗量産技術の確立と速やかな技術移転を図るため、引き続き種苗生産試験、稚魚中間育成試験、稚魚養殖試験を行います。
- 6 施設整備事業(イセエビ幼生飼育実験室の整備) (64,811(7,811)千円)
【(502)公設試験研究機関新技術開発事業】〔総合企画局科学技術振興センター〕
イセエビの適正飼育条件の把握等幼生飼育技術を向上させ、稚エビの量産化に結びつける技術を確立するため、イセエビ幼生の中規模飼育技術開発に飼育環境の環境の整った実験室を整備します。

主な見直し項目

木材安定供給確保事業計画認定事業

国の認定基準は三重県の実状にあわないため廃止。